

ゆうだい21栽培技術情報 第2号

令和7年5月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

中干し開始は遅くしない！
雑草防除で高品質・収量確保を目指そう！

1 目標とする「ゆうだい21」 ☆収量確保にむけて考えてみる

	精玄米重 (kg/10a)	収量を構成する要素			※近年：H28～R6年	
		㎡当穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒/穂)	㎡当着粒数(粒/㎡) (㎡穂数×1穂粒数)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
近年※の ゆうだい21	514	309	93	28,737粒/㎡	82.6	22.3
目標とする ゆうだい21	540	330	90	29,700粒/㎡	82.0	22.3
目標 コシヒカリ	533	400	70	28,000粒/㎡	87.0	22.5

上の表より、「ゆうだい21」と「コシヒカリ」の目標を比較して考えてみる！

目標とする「ゆうだい21」の㎡当穂数は330本/㎡であり、コシヒカリの目標㎡当穂数400本/㎡より少なくなっています。そのため中干しを開始する時の「ゆうだい21」の茎数は「コシヒカリ」より少なくても十分に目標㎡当穂数を確保できます。

そのため

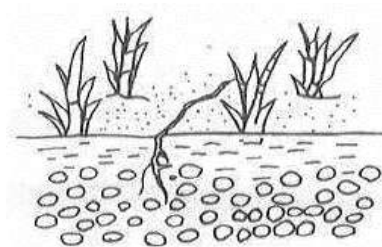
「ゆうだい21」の中干しは、茎数の多少にかかわらず、**田植後の日数から**かぞえて実行し、遅れずに行いましょう。

2 溝掘り・中干し ☆田植後4週間までに中干しを始め、確実に田面を固める

田植後3週間頃から落水して泥を落ち着かせて溝掘りし、中干しを開始します。

中干しが遅れると根の伸長が悪くなり、米の登熟に影響がでますので、中干しは遅れずに始めましょう。効率よく中干しを行うためには5mに1本を目安に溝を掘りましょう。

時 期	期 間 ※	仕上げの程度 ※
田植後4週間までに「中干し」を開始 (目標穂数の80%)	3～5日間程度	長靴が沈まない程度 田面に小さな亀裂ができるまで



※「水はけの悪いほ場、粘土質田、大豆跡田」などで、中干しの期間や程度に迷われたら、各地区のJA営農担当又は農林振興センターにご相談ください。

3 中干し後の水管理 ☆中干しが終了したら 間断かん水を行う

中干し終了後は、幼穂形成期（近年※7/12）まで間断かんを行い、足跡の深さ3cm程度を目標に地固めしましょう。※近年：H28～R6年

「くるぶし」がかるく沈む程度



4 雑草防除 ☆雑草が残った場合は、使用方法を確認し適期に散布

除草剤の使用については、「営農技術情報（第3号）」を参照ください。

湛水状態で散布する除草剤は除草効果を高めるため、散布前に軽い田干しを行い、水の入れ替えを行ってから散布しましょう。除草剤散布の際は、周辺の作物に飛散しないよう注意しましょう。